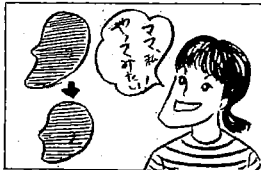


Q 顎の変形手術が心配

現在中学3年生の娘についての相談です。前歯で物をかみ切ることができず、顎が長いことに悩んでいます。歯科で「下顎前突症」と診断され、治すには手術をし、その後に矯正を行うとのことでした。親としては心配で、手術以外の方法はないかと考えていま

す。ただ、娘は手術をしたいと言っています。先生はこの病名の症例は多く行っているので安心してくださいと言います。娘は時々、顎の痛みを訴えることもあります。治療法などについてアドバイスを願います。(館山市、女性 44歳、娘 14歳)

お口の健康相談室



イラスト・めいも

常や位置のずれが原因で起こる病気です。骨格性の顎変形による障害は、機能面では、全くかみ合わせのない場合でも、何らかの手段で栄養摂取が可能です。そのため、以前は顎変形症はそれほど重大な病気ではない

は17から20歳以降です。手術は入院し、全身麻酔で行います。顎の骨を切って移動させて、かみ合わせや左右のバランスが合う位置に骨を移動させて固定します。手術は口の中から行いますので顔の表面に傷が

A 長期治療 主治医と相談を

顎の骨は、上顎骨と下顎骨と頬骨で作られています。顎変形症は、顎の骨の大きさ、形の異

顎変形症の手術では、手術前に矯正治療を行います。その後、骨の成長発育が止まる年齢の時期に外科手術を行います。その時期は女性では15歳以降、男性

残ることはありません。手術時の大出血の心配も少ないです。しかし、多量の出血が予想される場合は自己血貯留輸血を行うことがあります。

顎変形症の治療は、治療期間が長期になります。きちんと納得がいくまで主治医と治療方法についての話し合いが必要です。また、外科手術に関しては歯学部付属病院の口腔外科、または病院の口腔外科を受診することをすすめます。

歯並びを治すには矯正治療があります。歯と歯を支えている骨(歯槽骨)の問題であれば矯正治療だけで治すことができま

顎変形症の手術では、手術前に矯正治療を行います。その後、骨の成長発育が止まる年齢の時期に外科手術を行います。その時期は女性では15歳以降、男性

切った骨はプレートやネジで固定し、口の粘膜は縫合します。上下顎を固定するために上の歯列と下の歯列をワイヤで結び固定する、顎間固定を行います。固定中は口を開けられないため、食事は鼻からチューブで栄養を取ることになります。

顎変形症の治療は、治療期間が長期になります。きちんと納得がいくまで主治医と治療方法についての話し合いが必要です。また、外科手術に関しては歯学部付属病院の口腔外科、または病院の口腔外科を受診することをすすめます。

養を取ることになります。顎間固定は3〜4週間です。固定を外した直後は口が全く開きませんが、開口練習で少しずつ開けられるようになります。手術後しびれが出る場合がありますが、このしびれやマヒは数か月で消えます。

退院後の食事は、茶わん蒸しやプリンなどかむ必要のないものから始め、1か月後にはペーパースト食やオムレツなど柔らかいものを食べます。退院後すぐにかむ力で患部に負担をかけること、移動させた骨がずれたり、

県歯科医師会の歯科医が、歯や口に関する皆さんの悩みや相談にお答えします。普段の治療では聞けないことや、歯や口に関する悩みを募集しています。
住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒260-0013千葉市中央区中央4の15の3読売新聞千葉支局「お口の健康相談室」係まで、はがきかファクス(043-225-2190)、メール(chiba@yomiuri.com)でお寄せ下さい。